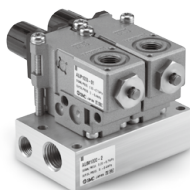


インパルスルブ ALIP1000-1 1100 Series

- 摺動部への間欠微小定量吐出
- 潤滑点の直前で、一定量の油を直接供給



ALIP1000-01



ALIM1000-2

標準仕様

型式	ALIP1000-01	ALIP1100-01
管接続口径 Rc(呼び径)	1/8 (6A)	
保証耐圧力	1.0MPa	
信号圧使用圧力範囲	0.25~0.7MPa	
使用油圧力範囲 ^{注1)}	0~0.4MPa	0.15~0.4MPa
使用油粘度 ^{注1)}	2~460cst (40°C)	
周囲温度および使用流体温度	5~50°C	
1ショット給油量 ^{注2)}	0~0.04cm ³	
重量 (kg)	0.22	
取付姿勢	OIL OUT側が上	制限なし

注1) 配管長さおよび油粘度より、使用油圧力および配管径を取扱説明書により決定してください。
注2) 給油量調整可能範囲は0.003~0.04cm³です。出荷時の給油量設定値は0.02cm³です。

オイルタンク(オプション)・製品番号

品番	使用圧力範囲	タンク容量	フロートスイッチ	最大使用電圧	最大接点容量
ALT10			—	—	—
ALT10-S1	0~0.4MPa	160cm ³	下限ON	AC、DC 200(V)	AC50(VA) DC50(W)
ALT10-S2			下限OFF		
ALT20			—	—	—
ALT20-S1	0~0.4MPa	1000cm ³	下限ON	AC、DC 200(V)	AC50(VA) DC50(W)
ALT20-S2			下限OFF		

型式表示方法

ALIP 1000-01

インパルスルブ

管接続口径

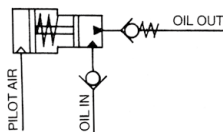
01 Rc1/8

●適用油、油供給圧力

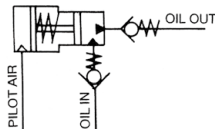
記号	適用油	油供給圧力
1000	油	無加圧、加圧
1100	油	加圧

JIS記号

ALIP1000-01



ALIP1100-01



ALIM 1000-2

インパルスルブ
マニホールド

●連数

2	2連
3	3連
4	4連
5	5連
6	6連
7	7連
8	8連
9	9連
10	10連

搭載インパルスルブ型式

1000	ALIP1000-01
1100	ALIP1100-01

注1) 奇数連は偶数連のベースを使用し、1連のみプランキングプレートを取付けたものです。(P.1338外形寸法図参照)

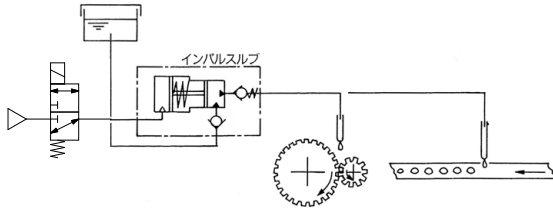
注2) ALIM1000-2を選定した場合、ALIP1000-01が2台搭載されます。

ALIP1000-1100 Series

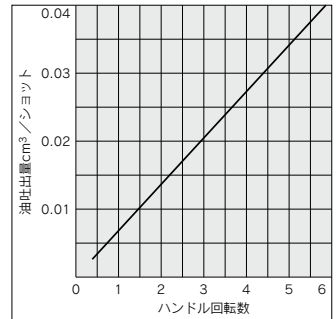
配管例

歯車等機械摩擦部への間欠給油および定油量のドロッピング

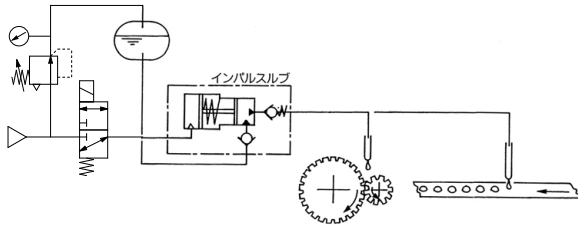
- 無加圧タンク



油吐出量(代表値)

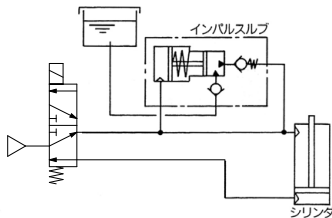


- 加圧タンク

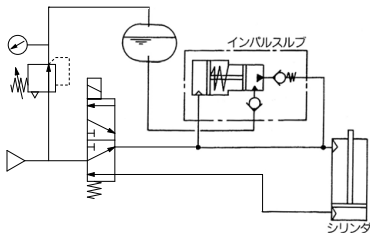


エアシリンダ等空圧機器の潤滑

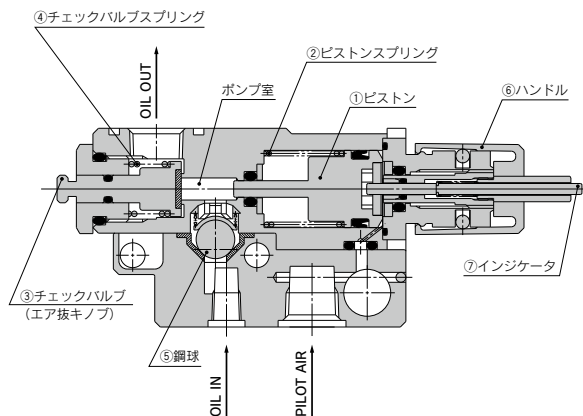
- 無加圧タンク



- 加圧タンク



作動原理



左図において、①ピストンの入口側にパイロットエアが入りますと①ピストンは、②ピストンスプリングに打ち勝って、ポンプ室内のオイルを押し下げます。この時⑤鋼球は下方に押されてシート、オイルの入口通路を閉じます。ポンプ室のオイルは(ポンプ室突入ピストン断面積)×(ピストンストローク)だけの体積のオイルが、③チェックバルブを押し開いて、オイルの出口側に吐出します。オイルの吐出が終了しますと③チェックバルブは④チェックバルブスプリングにより出口側通路を閉じます。パイロットエアが排気されますと、②ピストンスプリングにより、①ピストンは復帰し、⑤鋼球が上側に引かれ新しいオイルが入口通路よりポンプ室へ流入します。吐出オイル量の調整は、⑥ハンドルを回転させて、①ピストンのストロークを変えて行います。ハンドル左回転で吐出量は多くなり右回転で少なくなります。ピストンの動きは⑦インジケータにより目視で確認できます。

AL800
AL900

ALF
ALT

ALD

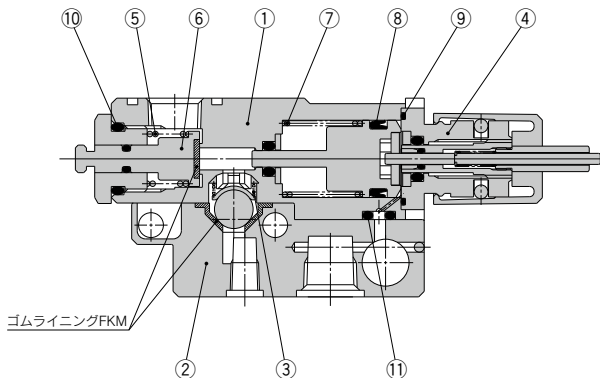
ALB

LMU

ALIP

AEP
HEP

構造図/パーツリスト



主要部品/パーツリスト

番号	部品名	材質	備考
1	ボディ	亜鉛ダイカスト	ブラチナシルバ塗装
2	ベースB	亜鉛ダイカスト	ブラチナシルバ塗装

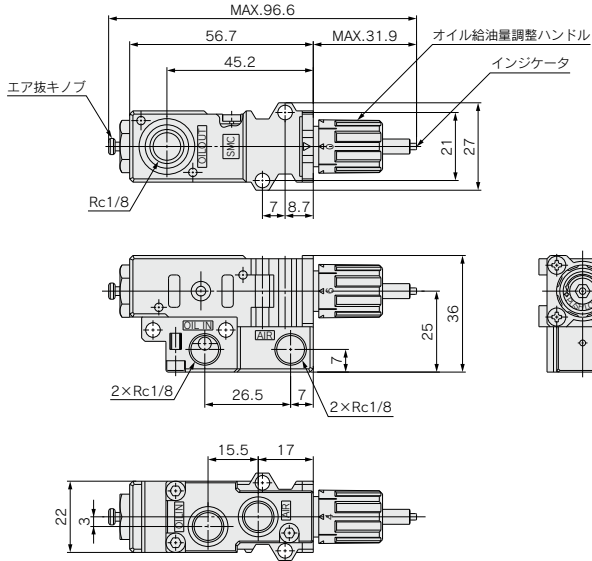
スベアパーツ/交換部品番号

番号	部品名	材質	部品番号	
			ALIP1000-01	ALIP1100-01
3	チェックスプリング	ステンレス鋼	—	881128
4	ボンネットアセンブリ	—	88117-1A	88117-3A
5	チェックスプリング	ステンレス鋼	—	881118-1
6	チェックバルブアセンブリ	—	—	881115-2A
7	ピストンスプリング	ステンレス鋼	—	881117
8	DYパッキン	NBR	—	KB00207
9	Oリング	NBR	—	KA00288
10	Oリング	NBR	—	KA00066
11	Oリング	NBR	—	KA02133

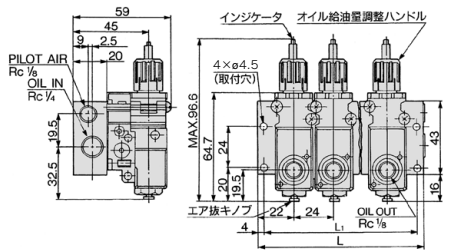
ALIP1000-1100 Series

外形寸法図

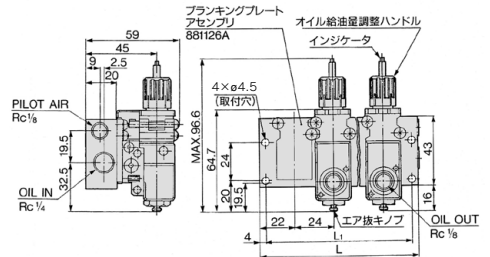
インパルスルブ：ALIP1□00-01



インパルスルブマニホールド：ALIM1□00-2,4,6,8,10



インパルスルブマニホールド：ALIM1□00-3,5,7,9



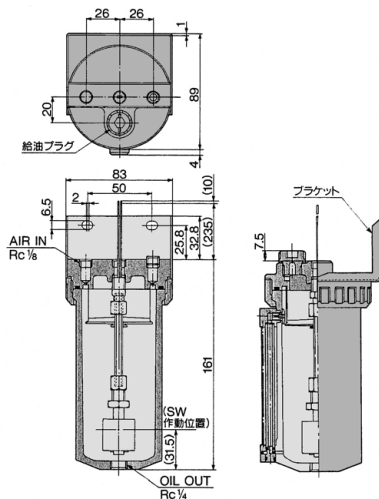
品番	使用インパルスルブ品番	連数	L	L ₁
ALIM1000-2	ALIP1000-01	2	68	60
ALIM1100-2	ALIP1100-01	2	68	60
ALIM1000-4	ALIP1000-01	4	116	108
ALIM1100-4	ALIP1100-01	4	116	108
ALIM1000-6	ALIP1000-01	6	164	156
ALIM1100-6	ALIP1100-01	6	164	156
ALIM1000-8	ALIP1000-01	8	212	204
ALIM1100-8	ALIP1100-01	8	212	204
ALIM1000-10	ALIP1000-01	10	260	252
ALIM1100-10	ALIP1100-01	10	260	252

品番	使用インパルスルブ品番	連数	L	L ₁
ALIM1000-3	ALIP1000-01	3	116	108
ALIM1100-3	ALIP1100-01	3	116	108
ALIM1000-5	ALIP1000-01	5	164	156
ALIM1100-5	ALIP1100-01	5	164	156
ALIM1000-7	ALIP1000-01	7	212	204
ALIM1100-7	ALIP1100-01	7	212	204
ALIM1000-9	ALIP1000-01	9	260	252
ALIM1100-9	ALIP1100-01	9	260	252

注)仕様は使用インパルスルブの仕様準じます。

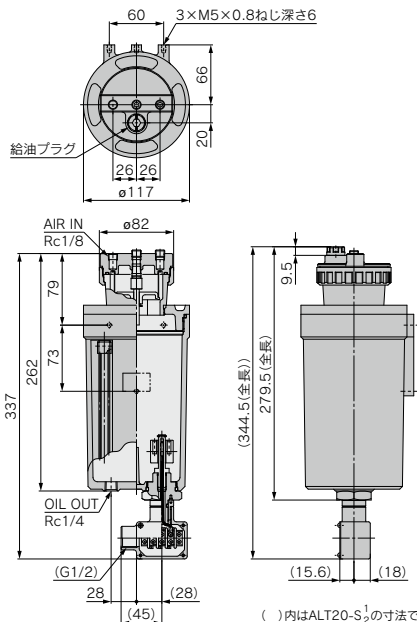
オプション・外形寸法図

オイルタンク：ALT10



()内はALT10-S₂の寸法です。

オイルタンク：ALT20



()内はALT20-S₂の寸法です。

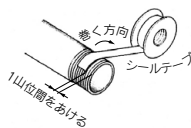
AL800
AL900
ALF
ALT
ALD
ALB
LMU
ALIP
AEP
HEP

取扱い上のご注意

取付

<共通>

- ①配管前に配管などのフラッシングまたは洗浄を十分行い、管内の切粉、切削油、固形異物などを除去してください。これらが管内に残っていると作動不良などの原因になります。
- ②配管や継手類をねじ込む場合は、配管ねじの切粉やシール材が機器内部に入り込まないようにしてください。なお、シールテープを使用される場合は、ねじ部先端を1山残して巻いてください。



- ③配管材のねじ込みは、めねじ側を保持して推奨締付トルクで行ってください。締付トルクが不足していると緩みやシール不良などの原因になります。過剰なトルクで締付けるとねじ破損などの原因になります。また、めねじ側を保持せずに締付け作業を行うと製品に直接過大な力が作用し、破損などの原因になります。

推奨締付トルク (N・m)

接続ねじサイズ	1/8	1/4
推奨締付トルク	3~5	8~12

<インパルスルプ>

- ①AIR INポートとOIL INポートを2箇所ずつ設けてありますので、使用しないポートには六角穴付プラグを装着してご使用ください。(六角穴付プラグは2個同梱されています。)
- ②OIL OUTポートには、栓をしないでください。
- ③OIL OUTポートへの継手ねじ込み深さは、6mm以下にしてください。それ以上ねじ込まれた場合は、内部部品などが破損し作動(給油)不良などの原因になります。
- ④エア抜きノブの周辺は、エア抜きのためのスペースを設けてください。
- ⑤ALIP(ALIM)1000シリーズは、OIL OUT側が上側になるように取付けてください。

<オイルタンク>

- ①無加圧(大気開放)で使用される場合は、本器より100mm以上高い位置に取付けてください。
- ②ALT10シリーズは、製品とブラケット間にも多少がたつきを設けてあります。

調整

<インパルスルプ>

- ①出荷時の給油量は、0.02cm³に設定しています。変更が必要な場合は、ハンドルを回して調整してください。調整する際は、ハンドルを引張ってロックを解除してから実施してください。調整後はハンドルをロックしてください。
- ②給油量は、右回転(時計回り)で少なくなり、左回転(半時計回り)で多くなります。ハンドル1回転で給油量は約0.007cm³変化します。

給油

<インパルスルプ>

- ①ポンプ室内にエアが混入すると給油(オイルを吐出)しくくなります。この場合は、エア抜きノブを作動させエアを排出してください。

<オイルタンク>

- ①オイル補充時は、多量の気泡がオイル内に混入しますので気泡が抜けるまで待つか、真空引きして気泡を除いてから使用してください。